

033

災害時に多言語アナウンスを再生できる
「USEN おもてなしキャスト」

取組主体

株式会社 USEN (USEN-NEXT GROUP)

従業員数

想定災害

実施地域

4,692 人

全般

東京都

- 既存の放送設備を利用し、タブレットで簡単に操作できる多言語対応アナウンスアプリを提供。災害時の通信オフライン状態や電源確保が難しい状況でも、多言語アナウンスを再生できる。

1 取組の特徴 (はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点)

災害時に電源確保が難しい状況でも再生できる多言語対応アナウンス

- 不特定多数が集まる商業施設等の館内放送や店内放送は、多言語対応アナウンスに対応していないか、英語には対応していても、中国語や韓国語までは対応していない場合が多い。店舗向け音楽配信サービスを提供する株式会社 USEN は、災害時等のアナウンスの多言語対応ニーズの高まりを受け、多言語対応アナウンスアプリ「USEN おもてなしキャスト」を開発した。
- 同サービスは、BGM 配信等に用いる既存の放送設備を入れ替えることなく、タブレット 1 枚だけで導入可能である。最初から多くの汎用アナウンスが標準で搭載されているため、設備投資を抑えてスピーディーに導入できる。
- 翻訳ソフトや音声読み上げソフトも標準搭載しており、追加料金なしでオリジナルの多言語アナウンスを即時作成できる。また、災害時の通信オフライン状態や、電源確保の難しい状況でも多言語アナウンスを再生できる。
- 誰にでも見やすく誤操作の少ない大型画面で、マニュアル不要な画面設計となっている。また、タブレットの特徴を活かした「筆談」機能も標準搭載しており、耳の不自由な方とのコミュニケーションも可能である。



USEN おもてなしキャストの
操作イメージ



USEN おもてなしキャスト (防災) の活用イメージ

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 多言語によるアナウンスは、コロナ禍での開閉店時間の変更、入場制限、アルコール消毒やソーシャルディスタンスの案内等、災害時以外での館内アナウンスの迅速な作成、放送開始までのスケジュール短縮に効果があった。

3 現状の課題・今後の展開等

- 近年マスクの着用が増加した影響により、日本語の会話を音声認識で文字化する機能等の要望も受けている。
- イヤホンを装着した人や館内のアナウンスが聞こえにくい人への対応として、施設内のサイネージモニターにアナウンス原稿を割込表示する機能を追加することで、「耳に聞こえる情報を目に見える情報へ」展開するサービスを一部スタートしている。

担当者の声

- 不特定多数の方が来訪される施設で放送設備 (または非常放送設備) のある商業施設、複合施設、大型施設、観光施設、宿泊施設等における防災・減災対策に向けて、また企業の BCP 対策にも利用できるサービスとなっています。デモ機の貸出も可能で、オンラインでの個別ウェブナーの開催も引き受けています。

問合せ先

サイト URL

株式会社 USEN (USEN-NEXT GROUP) 法人番号：8010401132177
TEL：03-6823-7097 (部署代表) E-Mail：sound_lab@usen.co.jp

